

琵琶湖博物館でカイツブリの人工育雛に初めて成功 生後2か月の幼鳥3羽を展示しています

滋賀県の県鳥「カイツブリ」を琵琶湖博物館で初めて人工育雛に成功しました。幼鳥期ならではの他個体との関わりをぜひご覧ください。

概要

- ・当館では、カイツブリの卵からの人工育雛は初めての試み。
- ・滋賀県の県の鳥に指定されている水鳥であるカイツブリの幼鳥を展示しています。
- ・カイツブリは、滋賀県で大切にすべき野生生物－滋賀県レッドデータブック－では「希少種」に指定されています。
- ・縄張り意識の強いカイツブリは、成鳥になるとペア以外での同居は難しく、幼鳥期ならではの複数展示を行っています。



カイツブリ幼鳥:頸部に縞模様がある

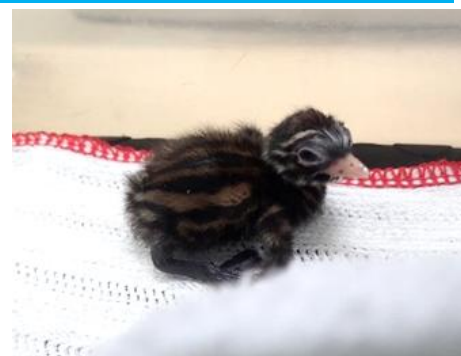
詳細について

開館以来、水族展示 水辺の鳥コーナーでは滋賀県を代表する水鳥としてカイツブリを展示してきました。その中で、親鳥たちが子育てする様子をご覧いただくこともありましたが、ペアでの子育てが良好であったことなどから、孵化から完全に人の手による育雛は行ってきませんでした。

今回、東京都井の頭自然文化園（東京都武蔵野市）より有精卵を3卵分譲いただき、令和7年（2025年）8月10～11日に無事孵化したため、初めて人工育雛を行いました。

これまで、バックヤードで育てていましたが、ほぼ成鳥と同じ大きさになり巣立ちの時期となったため、より広い環境で発育を促したいとの思いから、3羽を展示水槽へ移動することにしました。

縄張り意識の強いカイツブリは、成鳥になるとペア以外での同居は難しいため、複数個体展示は幼鳥期ならではの期間限定となります。



孵化当日のカイツブリ雛(約7g)

記

- ・展示期間：令和8年（2026年）2月末頃まで
（展示個体や館内の状況によって、展示を休止・一部変更する場合があります。）
 - ・場 所：琵琶湖博物館 水族展示室 4 水辺の鳥コーナー
 - ・開館時間：9:30～17:00（最終入館 16:00）
 - ・入場料：常設展示観覧料が必要になります。
 - * その他休館日などの情報は、当館ホームページでご確認ください。<https://www.biawahaku.jp/>
- 以上